

地球温暖化対策実行計画 行動一覧

家庭での取組み 二酸化炭素排出量 基準年度（2013(平成25)年度）27,803tCO₂/年 → 目標年度（2030(令和12)年度）16,824 t CO₂/年

※自動車分を除く

取組み内容	生活の中で取り組む具体的な例及び解説【町民の方】	現在の施策	計画推進施策として考えられること	R4	R5以降	
省エネルギー対策	住宅における断熱改修（窓改修や部分断熱含む）や高断熱住宅の建築	住宅リフォーム支援事業	・住宅の新築・リフォームに対する省エネ対策補助の拡充検討 【建設課・町民課】 ・住宅の省エネルギー診断の実施検討 【町民課・建設課】	○		
	ヒートポンプ給湯器などの高効率給湯器への買い換え LED照明などの高効率照明への買い換え 省エネ型家電製品への買い換え（冷蔵庫、テレビ、エアコン等）		・高効率電化製品の有効性について、周知を図る。	○		
	ゴミの減量化を図るごみの分別と4R（※）の実施 生ごみのたい肥化 有価物回収への参加 <small>※4Rとは、Refuse「リフューズ断る」、Reduce「リデュース少なくする」、Reuse「リユース再利用する」、Recycle「リサイクル再生利用する」の頭文字の4つのRから4Rと呼んでいます。</small>	・1回の食事を考えて作りすぎに注意しましょう。 ・生ごみをたい肥化してごみを減らしましょう。 ・ペットボトル、プラスチックのリサイクルを図りごみを減らしましょう。 ・小型家電回収やフリーマーケットの利用によりごみを減らしましょう。	環境基本計画推進事業(美しい郷づくり推進会議) ・小型家電回収 ・コンポスト補助事業 ・てんぶら油回収 ・有価物集団回収支援 ・ごみ減量化への啓発事業	・環境基本計画推進事業(美しい郷づくり推進会議) ・ごみ減量化への啓発事業 【町民課】	○	
	再生可能エネルギー設備の導入	・太陽光発電装置の設置により、電力の自給自足が可能となります。不足した分は電力会社から買ったり、蓄電装置があれば電力を貯めておくことができます。 ・薪や木質ペレットなどの木質バイオマス燃料とする暖房は、化石燃料を使用しないため、環境に優しく、地球温暖化防止対策として有効です。 ・太陽熱温水器を導入することで、化石燃料の使用を削減することができます。 ・住まいの断熱性・省エネ性能を上げること、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、年間の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅を指します。国土交通省、経済産業省、環境省等から支援があります。 ・自宅に太陽光発電装置を設置することが難しいときは、再生可能エネルギーを基にした電力へ切り替えることにより、二酸化炭素排出量の削減に貢献できます。	再生可能エネルギー推進事業 ・太陽光発電 H25～R2 56件 ・木質バイオマス燃焼器 H27～R2 31件	・再生可能エネルギー推進事業 【町民課】	○	
自動車対策	ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車への乗り換え		・災害に備えたPHEVの普及啓発 【総務課、町民課】	○		
	エコドライブの実施	・近場は自転車や徒歩で移動しましょう。 ・不要な荷物は積まないようにしましょう。 ・タイヤの空気圧はこまめにチェックを行い、無用なアイドリングをやめましょう。 ・安全な定速走行に努め、急発進を避け優しい発進を心掛けましょう。	・環境基本計画推進事業(美しい郷づくり推進会議)エコドライブ推進事業	○		
	デマンドタクシーやバス、鉄道、自転車の利用	・公共交通機関や相乗りなどで車の利用削減を図りましょう。	高齢運転者交通安全対策事業(デマンドタクシー利用券、割引)	・デマンドタクシー、バス、鉄道の利用を促進するための整備 【企画政策課】	○	
森林吸収対策	町産材を利用した住宅の新築やリフォームによる木材の地産地消	・森林は、CO ₂ を吸収し固定するとともに、木材として建築物等に利用することで炭素を長期間貯蔵することが可能です。 ・二酸化炭素削減には、間伐の実施と「伐って、使って、植える」という資源の循環利用を進めることが大切です。	町産材等木造建築推進事業 【農林課・建設課】	○		
	住宅の樹木維持、緑のカーテンなどの緑化と日射対策		花いっぱい運動事業 【町民課】 ・環境教育の推進 【町民課・教育委員会】	○		
	財産区等の森林の間伐と利活用に取り組む間伐と主伐再造林事業に取り組む		・間伐材等利用推進事業 【農林課・商工観光課】		○	

	取組み内容	生活の中で取り組む具体的な例及び解説【事業者の方】	現在の施策	施策として考えられること	R4	R5以降			
省エネルギー対策	事業所の省エネ化（新築・改修）	・環境への負荷の少ない建築資材を採用しましょう。 ・建設に伴う端材などを利用して再資源化が可能なものの有効利用を図りましょう。	・住宅、建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）などの各種国補助金	・町産材利用の活用啓発【農林課・商工観光課】 ・新技術導入への支援検討【商工観光課・町民課】		○			
	高効率空調、照明、給湯器の導入	・高効率空調、照明、給湯器は、従来のものよりも燃料の消費量が少なく済むことで、光熱費を抑えられ、環境保全に役立つとして期待できます。	・先進的省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）中「指定設備導入事業」 ・省エネルギー設備投資に係る利子補給金助成事業（資源エネルギー庁）						
	インバータ導入による省エネ改修（ファン、ポンプ）	・細やかな電力の調整ができるため無駄のないエネルギー消費が可能となります。	・先進的省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）中「先進事業」						
	浄化槽の省エネ改修交換（高効率プロワ等）	・従来のものよりも燃料の消費量が少なく済むことで、光熱費を抑えられて環境保全に役立つとして期待できます。	・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（環境省）中「省エネ型浄化槽システム導入推進事業」						
	高性能ボイラの導入		・先進的省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）中「指定設備導入事業」 ・省エネルギー設備投資に係る利子補給金助成事業（資源エネルギー庁）						
	徹底的なエネルギー管理 エコアクション21の実施	・エネルギーの使用料を測定し「見える化」により省エネに努めましょう。 ・省エネ診断を実施し、エネルギー使用費の実態を把握し、事務所内の無駄を省きましょう。 ・機器の定期的な保守、メンテナンスにより性能劣化の防止を図りましょう。					・事業所の省エネルギー診断実施の検討【商工観光課・町民課】		○
	トッランナー機器（複写機、冷凍冷蔵庫等）の導入	・製造から廃棄までに必要なエネルギーをできる限り抑制した製品の開発や使用に心がけましょう。	・先進的省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）中「先進事業」				・新技術導入への支援検討【商工観光課・町民課】		○
BEMS（ビル管理システム）の活用	・BEMSとは「ビル・エネルギー管理システム（Building Energy Management System）」の略称で、消費されるエネルギーを可視化し、最適なエネルギー管理を目指すシステムです。	・先進的省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）中「エネマネ事業」	・事業所の省エネルギー診断実施の検討【商工観光課・町民課】		○				
省エネ診断等による徹底的なエネルギー管理の実施	・昼休みなど、事業所内の決めた場所の消灯などによる節電に努めましょう。 ・ディスプレイの電源消し忘れに気をつけましょう。 ・OA機器のスイッチをこまめに切りましょう。				○				
再生可能エネルギー設備の導入	事業所屋根における自家消費型太陽光発電の設置	・太陽光発電により、電力の自給自足が可能となります。不足した分は電力会社から買ったり、蓄電装置があれば電力を貯めておくことができます。 ・20年間固定価格で電力を買い取るFIT制度があります。	・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（環境省）中「ストレージバリエティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業」	・再生可能エネルギー推進事業の拡充検討【町民課・商工観光課】 ・住宅、事業所の省エネ対策を実施する町内事業者の養成と関係者セミナー等開催【商工観光課・町民課】	○	○			
	敷地や未利用地における太陽光発電の設置								
	PPAやリースによる太陽光発電の設置	・太陽光発電等の初期費用を事業者が負担して 屋根等に設置し、発電した電力を建物 所有者等に販売することで初期費用を回収する事業形態のことで、初期投資を抑えることが可能です。			○				
	温浴施設へのバイオマスボイラーの導入	・重油ボイラーからバイオマスボイラーに転換することにより、重油使用量や CO2 排出量を削減することができます。							
	事務所へのペレットストーブ、バイオマスボイラーの導入	・薪や木質ペレットなどの木質バイオマス燃料とする暖房は、化石燃料を使用しないため、環境に優しく、地球温暖化防止対策として有効です。	・山形県再生可能エネルギー等設備導入事業費補助金	・再生可能エネルギー推進事業の拡充検討【町民課・商工観光課】		○			
	ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の建設	省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにする建物です。	・住宅、建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）						
再生可能エネルギーを基にした電力への切り替え	・自宅に太陽光発電装置を設置することが難しいときは、再生可能エネルギーを基にした電力へ切り替えることにより、二酸化炭素排出量の削減に貢献できます。		・再生可能エネルギー利用促進啓発【町民課】		○				
自動車対策	ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車の導入	・化石燃料から電気エネルギーに変えることで、CO2の削減を図ることができます。	・クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金（経済産業省）中「電気自動車・プラグインハイブリッド車・燃料電池自動車の導入補助事業」	・災害に備えたPHEVの普及促進を図る【総務課、町民課、商工観光課】 ・環境基本計画推進事業(美しい郷づくり推進会議)エコドライブ推進事業 ・新技術の導入支援の検討【商工観光課】	○	○			
	エコドライブの実施	・近場は自転車や徒歩で移動しましょう。 ・不要な荷物は積まないようにしましょう。 ・タイヤの空気圧はこまめにチェックを行い、無用なアイドリングをやめましょう。 ・安全な定速走行に努め、急発進を避け優しい発進を心掛けましょう。							
	公共交通、共同輸配送の推進、宅配再配達削減								
	電気自動車のための充電スタンドの整備		・クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金（経済産業省）中「電気自動車・プラグインハイブリッド自動車向け充電インフラの導入補助事業」				・電気自動車のための充電スタンド整備促進支援【町民課・商工観光課】		○
森林策吸収	社屋の新築、リフォーム、家具等における木材利用		・住宅、建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金（資源エネルギー庁）などの各種国補助金	・間伐材等利用推進事業【農林課・商工観光課】		○			
	社屋の樹木維持、緑化		・特定工場の緑地及び環境施設面積率の基準を設定（法律及び町条例）	・グリーンカーテンなどの緑化の促進啓発【町民課】		○			

	取組み内容	生活の中で取組む具体的な例及び解説【事業者の方】	現在の施策	施策として考えられること	R4	R5以降
省エネルギー対策	施設園芸への省エネ設備導入		・魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業（県）	・新技術の導入推進【農林課】	○	
	省エネ農機の導入					
再生可能エネルギー設備の導入	農地を活用して営農を継続しながらの営農型太陽光発電事業（ソーラーシェアリング）の設置	・農地の上に太陽光発電を設置して、電気を作り、その下で農作物も作る営農型太陽光発電として注目されています。このほかに、耕作放棄地の利用可能性を広げる方法も検討されています。 ・一定の条件を満たすことにより、農地の一時転用が認められます。		・町内農業者による営農型太陽光発電事業の可能性検討【農林課、農業委員会、町民課】	○	
	森林資源から薪やチップ、ペレットなどの生産	・間伐材や端材を活用した生産が行われています。	・木材乾燥センター総業 ・JAS 規格の工場認定取得	・森林資源のエネルギー利用システム構築に向けた関係者セミナーの開催【農林課、町民課】	○	
	小型木質バイオマス発電の導入	「小型蒸気タービン」、「ORC (Organic Rankine Cycle)」、「ガス化発電」があげられます。今後、普及が期待されています。	・林業、木材産業成長産業化促進対策交付金事業（県）	・町内事業者による畜産バイオガス発電可能性検討【農林課、町民課】 ・木質バイオマス発電の事業可能性調査【農林課、町民課】 ・小水力発電、風力発電の事業可能性調査の実施【町民課、農林課、建設課】	○	
	家畜の糞尿を回収してバイオガス発電の実施					
	土地改良区の用水を用いた小水力発電事業の実施					
森林吸収対策	間伐と主伐再造林の推進		・森林整備支援事業 ・森林、山村多面的機能発揮対策事業等の緑の循環システム推進	・森林整備支援事業、森林・山村多面的機能発揮対策事業等の緑の循環システム推進【農林課、商工観光課】	○	
	木材製品の開発と販売拡大		・町産材等木造建築推進事業			